

事業期間：2024年4月1日から2025年3月31日

本財団は、「重要文化財小岩井農場施設の建造物を保有し、それらに対し修復・管理・保存環境の整備を図ると共に、わが国の農業近代化の変遷に於ける小岩井農場の重要文化財の学術的調査研究及び普及を図り、もって学術・文化の振興に寄与する事」を事業目的としている。

本財団事業開始から6期目となる2024年度として、上述の事業目的の一層の推進並びに充実を図るべく、下記の通りの諸事業を計画する。

記

1. 文化財の公開と普及活動

本財団が保有する農業近代化遺構である重要文化財建造物21棟を広く一般に公開し、わが国の農業近代化に於ける牧畜業の発展の歴史の啓蒙を中心に普及活動を行なう。

(1) 公開・普及活動の実施にあたり、その公開体制・公開範囲・公開方法等を検討の上策定し、公開を実施する。

(2) これら重要文化財群について、わが国の農業近代化に於ける文化・技術・歴史的な価値並びに意義を広めるべくイベントを企画し実行する。

2. 文化財の保存・補修計画の策定と実施

重要文化財21棟はその多くが稼働遺産であり、老朽化が加速し安全性と文化財保存の観点から、保存・修復の必要性が益々高まっている。「小岩井農場重要文化財建造物耐震診断及び補修全体計画表」に基づき、文化庁及び有識者の協力を得て、2024年度も対象建造物の耐震診断及び耐震対策工事を行うこととしている。

(1) 耐震補強計画事業実施予定建造物

耐震診断の対象建造物として、次のものを予定している。耐震診断事業はこの4棟をもって完了となる。

- 耕耘部倉庫（M38年建造）
- 本部第二倉庫（M31年建造）
- 本部第一倉庫（M41年建造）
- 乗馬厩（S11年建造）

(2) 耐震対策工事業実施予定建造物

2022年度に策定した耐震補強計画に基づき耐震対策工事を実施する。対象建造物は、次のものを予定している。

■ 上丸第四号牛舎 (M4 1年建造)

3. 文化財の保存補修及び管理並びに公開普及の為の資金

重要文化財21棟の保存・補修・管理並びに公開・普及の為の資金、並びに財団運営に必要な資金として、三菱グループ企業24社より、2024年度に於いても70百万円の寄附金を受贈頂く。

4. 文化庁よりの文化財補助金

上記3項にある、三菱グループ企業等からの2024年度の寄附金受贈と並行して、重要文化財建造物の耐震診断事業に対し、文化庁より国庫補助事業としての支援を頂く。

5. 文化財の研究の推進

重要文化財21棟の研究活動については、現在進めている耐震診断事業ならびに現地調査で明らかになった事実をもって大学教授等の有識者が参加する保存活用検討委員会にて報告を行い、指導、助言の種々協力を仰ぎ学術研究の成果として積み上げていく。さらに2023年に開催した北海道大学総合博物館との共同企画展を東京大学などで開催したい。

6. 展示館の整備

本財団が保有する「重要文化財小岩井農場施設」の理解を促進する目的で開設した「小岩井農場重要文化財ギャラリー」は、写真・映像を多用した概要紹介パネルや高精細模型、VR映像等の展示により、世代問わず分かりやすいものとなっている。さらに多言語により訪日旅行客にも伝わる展示となっているため、公開、普及の中核施設として尚一層の整備と共に来館の促進に取り組む。

以上

※ 2024年度公益財団法人小岩井農場財団第6期事業計画詳細

1. 主な事業活動等予定

年月日	事業内容	摘要
2024年4月1日	小岩井農場財団第6期事業開始	
2024年4月1日	令和6年度耐震診断事業交付決定通知	第一号牛舎他11棟4カ年事業3年目
2024年4月初旬	令和6年度補正予算対応補助事業申請	第四号牛舎耐震対策工事業
2024年4月中旬	寄附金御依頼	各社他
2024年5月上旬	耐震診断事業契約及び着手	見積合せ
2024年5月上旬	2023年度決算について監査	
2024年5月中旬	第1回通常理事会開催	事業報告及び決算・評議委員会開催
2024年5月25日	ガイド付き文化財ウォークツアー開催	特別公開
2024年6月1日	令和6年耐震対策工事業交付決定通知	
2024年6月上旬	定時評議員会開催	事業報告及び決算
2024年6月末迄	内閣府事業報告等書類提出	
2024年8月初旬	耐震対策工事業契約及び着工	
2024年8月中旬	耐震診断事業有識者会議	
2024年10月	全建連「近代化遺産全国一斉公開」参加	ガイド付き文化財ウォークツアー開催（特別公開・セミナー）
2024年10月初旬	耐震対策工事業有識者査察	第四号牛舎
2024年10月中旬	第1回臨時理事会開催	代表理事業務報告
2025年1月末	令和7年度文化庁補助事業交付申請	耐震補強案策定、耐震対策工事他
2025年2月中旬	耐震診断事業有識者会議	
2025年2月下旬	第2回通常理事会開催	令和7年度事業計画及び予算案
2025年3月末迄	内閣府事業計画等書類提出	内閣府
2025年3月末	令和6年度補助事業実績報告提出	文化庁

2. 具体的事業内容

1) 調査研究・保全事業

①文化財の管理、修理等

- ・文化財建造物のき損等に関する日常管理の他、異常気象に伴うき損等の管理、修理手続き等

②令和6年度耐震診断事業実施（文化庁補助事業）

- ・耐震診断事業（耕耘部倉庫、本部第二倉庫、本部第一倉庫、乗馬厩の耐震診断）
事業期間：1年間、総事業費 43,293,878 円

③令和6年度耐震対策工事業実施（文化庁補助事業）

- ・耐震対策工事（第四号牛舎）
事業期間：2年間、総事業費 78,435,000 円（見積再検討中）

2) 公開普及事業

①文化財企画展及び特別公開

- ・文化財特別公開及びガイド付きウォークツアーの開催（2回）
- ・全国近代化建造物連絡協議会主催「近代化遺産全国一斉公開」事業への参加

②文化財の研究の推進

- ・2023年に開催した北海道大学との共同企画展「近代農業が見た夢」を、各地で開催し公開普及を図る。

③展示館事業

- ・重要文化財ギャラリーに係る成果調査（訪日外国人への魅力発信についてのアンケート）及び検証
- ・補助事業の進捗状況（四号牛舎補強工事）をギャラリーに掲示し、情報発信を行う。

以上